

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公表番号】特表2016-513638(P2016-513638A)

【公表日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2016-500078(P2016-500078)

【国際特許分類】

C 07 K 9/00 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 K 39/00 (2006.01)

【F I】

C 07 K 9/00 Z N A

A 61 P 25/28

A 61 K 39/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月22日(2016.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号62及び63のアミノ酸配列からなるAペプチド免疫原構築物の組合せを有する組成物。

【請求項2】

配列番号64及び65のアミノ酸配列からなるAペプチド免疫原構築物の組合せを有する組成物。

【請求項3】

CpGオリゴデオキシヌクレオチド(ODN)をさらに有する請求項1又は2記載の組成物。

【請求項4】

アジュバントをさらに有する請求項1～3のいずれか1項記載の組成物。

【請求項5】

a) i) 配列番号62及び63のアミノ酸配列からなるAペプチド免疫原構築物の組合せ、又はii) 配列番号64及び65のアミノ酸配列からなるAペプチド免疫原構築物の組合せ；

b) CpGオリゴデオキシヌクレオチド(ODN)；及び

c) 医薬上許容可能なデリバリビヒクル及び/又はアジュバント；
を有する医薬組成物。

【請求項6】

a) i) 配列番号62及び63のアミノ酸配列からなるAペプチド免疫原構築物の組合せ、又はii) 配列番号64及び65のアミノ酸配列からなるAペプチド免疫原構築物の組合せ；

b) CpGオリゴデオキシヌクレオチド(ODN)；及び

c) 医薬上許容可能なデリバリビヒクル及び/又はアジュバント；
から本質的になる医薬組成物。

【請求項 7】

前記 A ペプチド免疫原構築物の組合せが等モル比で存在し、前記 A ペプチド免疫原構築物及び前記 C p G オリゴデオキシヌクレオチド(ODN)が安定化免疫刺激複合体の形態である請求項 5 又は 6 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記 A ペプチド免疫原構築物の組合せが等モル比で存在し、前記 A ペプチド免疫原構築物及び前記 C p G オリゴデオキシヌクレオチド(ODN)が安定化免疫刺激複合体の形態であり、前記医薬上許容可能なデリバリビヒクル及び / 又はアジュバントがリン酸アルミニウム(AlPO₄)である請求項 5 又は 6 記載の医薬組成物。